

## 大学の世界展開力強化事業（平成26年度採択）事後評価結果

大 学 名	東北大学
整 理 番 号	r-2
事 業 名	日露間における新価値創造人材の育成

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価  <b style="font-size: 2em;">A</b>	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
コメント	<p>本プログラムは、東北大学が長年の交流実績を持つヨーロッパロシア地区、シベリア地区、極東地区の3大学にロシア科学アカデミーの2支部を加えた4機関と連携し、単位互換や成績管理等の質の保証を伴う両国学生の交流を行い、全球的観点で日露間の新たな価値を創造できる指導的人材の育成を目的に実施されたものである。</p> <p>ロシア側の高等教育制度改革による困難が予想される交流であるにも関わらず、文理を問わず広い分野を対象に学生個々のニーズに沿った段階的的学生交流プログラムを実施した点は評価できる。また、大学院生の共同研究への参加を推進するとともに、大学院レベルの共同教育を行う複数のジョイントラボを設置したり、これらを基盤とするジョイントセミナーを実施した点、さらに、異なる教育制度における評価法を可視化すべく、成績評価ガイドライン等を整備することで客観性を担保したことも評価に値する。</p> <p>一方で、派遣・受入学生数が目標をやや下回ったことについての原因の検証は行われたものの、効果的な方針を策定するまでには至っておらず、また、比較的長期に渡るプログラムにおいては学生への経済的な支援が不可欠である点を含め、計画段階からロシア側の状況に関する調査・検討が不足していたと言わざるを得ない。さらに、日本人学生がロシアで学ぶために必須の、言語面におけるロシア側からの友好的な協力が得られないまま補助期間終了に至ったことは、今後プログラムを発展させていく上での課題と言える。語学力向上に向けた取組を見直しを含めて継続するとともに、引き続きロシア側に対して言語面での協力要請をしていくことが望ましい。</p> <p>最後に、本事業による補助期間は終了したが、両国学生のニーズを十分に把握した上で、これまで築いてきた東北大学の強みでもあるロシアとの連携関係をさらに強化し、今後のロシアとの教育・研究交流を進めるとともに、引き続き質保証を伴うプログラムを実施することで、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与していくことを期待する。</p>